



RI 第 2 6 1 0 地区

東となみロータリークラブ会報

2012-2013 年度 No. 4 1

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F

ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 F A X 0763-53-1334、

inashorc@athena.ocn.ne.jp

2012-2013 年度 会長 河合耕一、幹事 上田昭二

2012-2013 年度 RI テーマ



「奉仕を通じて 平和を」

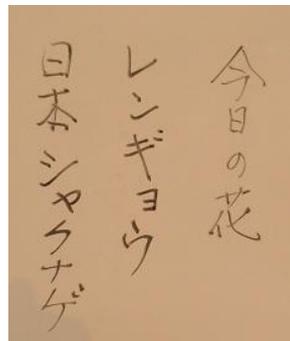
(田中作次会長)

例 会 記 録

第 1 6 6 7 回例会

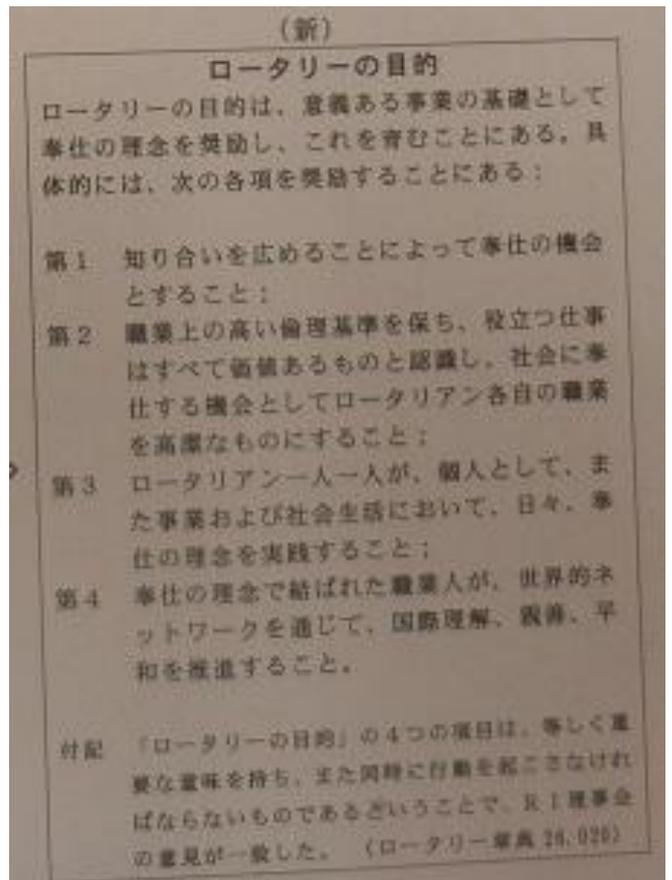
平成 2 5 年 4 月 2 4 日(水) 井波文化センター

1. 点 鐘 会長
2. ソング：それでこそロータリー
3. ビジター：細川誠三会員(南砺 RC 会長エレクト)



4. 会長の時間：細川さん、ようこそ。本日の「井波風」はすごいですね。福野はそよ風程度でした。先日、当クラブから、「南砺の山々を守る会」に募金頂きましたが、南砺 RC さんと歩調を合わせて、1 万円で調整させて頂きます。昨日、会場の整備にサンタの森に行ってきました。クズの根が張っており、重機ではつって抜いてきました。昨年は準備不足で、クズをうまくとれなかったところは、冬の間に、ドングリの苗に覆いかぶさってしまいました。今年は、安全に作業できるよう、苗がしっかり育つよう、準備しました。皆さんの参加をお待ちしております。**【南砺の山々を守る植樹祭：4 月 2 9 日(祝：月)午前 1 1 時】** 今日の花は、シャクナゲですが、蕾は

紅く、花になると白っぽくなります。この花は、間引きをしてやらないときれいに咲いてくれません。二又で育てるのが基本です。



5. 幹事報告：①「ロータリー綱領」に代わる、新「ロータリーの目的」についての案内(各テーブルに配布：「ロータリーの友」平成 25 年 1 月号 18-19 頁参照)

②国際ロータリー第 2610 地区ローターアクト 2012-13 年度第 35 回年次大会本登録の御案内(6 月 1-2 日砺波ロイヤルホテル)。③5 月のロータリーレートは、1 \$ = 98 円。④本日、例会後理事会。⑤メークアップ希望者は、他クラブ例会変更を事務局に確認を。

6. 委員会報告：①米山カウンセラー報告(斎藤会員)：世話クラブ補助金 4 万円の用途をはじめ、活動および支出金当の報告(資料あり)【斎藤会員の米山カウンセラー2年間のご労苦に関して、出席会員一同より、感謝の拍手がありました。】②IM 報告書(山本会員)：このほど印刷が上がりました。宮崎講師の講演は DVD に入っております。DVD プレーヤーや PC で視聴できます。③社会奉仕委員会(山本委員長)：4 月 18 日(木)の「良い歯の日キャンペーン」は庄川町雄神保育所を訪問しました。参加の会員の皆様有難うございました。④出席委員会：本日 20 名中 13 名出席 (65.00%)
7. ニコニコBOX(SAA：本日 3 名 5000 円、その他、R 財団 1 名、米山 2 名。4 月度計 57000 円、年度累計 443,000 円)

河合会長：細川さんようこそ。南砺の山々、皆さんでお越しく下さい。5 月 1 日の例会、欠席させて頂きます。今期初の欠席です。

小西会員：立派な「都市連合会報告書」を頂き、ようやくガバナー補佐の任務が終りに近づいた感じがします。編集して頂いた山本先生、大変御苦労をかけ、感謝します。いろいろ有難うございました。三谷先生、写真有難う。

高瀬会員：山本先生、IM の報告書、立派にまとめて頂き有難うございました。三谷先生、写真有難うございます。所用のため早退します。坂井さん卓話聞けなくてごめんなさい。

斎藤会員：三谷先生写真有難うございます。申し訳ありませんがちょっとだけ早く帰らせてもらいます。4 月が一番天気があります。いやになりますねえ。

坂井会員：山本さん、都市連合会報告書有難うございます。三谷さん、観桜会の写真有難うございます。卓話、頑張ります。

山本会員：IM 報告書ようやく出来上がりました。三谷先生、観桜会の写真有難うございました。

中島会員：春何番か知りませんが、すごい風ですね。強風の中。細川さんようこそ。三谷先生、写真有難うございます。



卓話「地域活性化の取り組み」坂井彦就会員

坂井会員：本日は、1 月 23 日の卓話の続きをします。先週一杯、砺波市議選のため、忙しく、準備不足をご了承ください。前回の時に地域活性化のための推進会議を作る話をしましたが、その続編として、地元レベルの事と県レベルの事の 2 つについて話します。

まず、一つ目は、庄川地域の活性化ビジョン作成後の進捗状況です。推進会議は、2 月から毎月 1 回開催し、担当を決めて、その担当が調査や実施計画を出して、1 カ月後報告し、全員でそれを協議、修正案を出し合うようにしています。まず、短期的には、IT を使って活性化を図るというもので、特定のアプリを使い、庄川観光アプリを登録し、利用者にスマホでダウンロードしてもらい、観光案内に利用してもらおうというものです。これについては、今年度、市への要望が通り予算が 150 万程つきました。また、商工会から、国への補助金申請をしましたが、これは 10/10 というもので通れば全額使えるものです。また、同じく IT 関係で、現在、若者を中心にすごい人気の SNS(無料通信アプリ)

を利用して、観光案内をしようというものです。それは、Line や Facebook、Twitter といわれるアプリに観光協会として法人契約をして、友達登録をして、利用者を増やしていこうというものです。定期的に情報を流していくものです。例えば、桜まつりや木工祭りなどをリアルタイムに流すというものです。ただし、無秩序に流せば、無視される可能性が高いので、水記念公園の事務所で管理し、例えば、金曜日午後4時に定期的に流すというふうにして、広がりをつなげていきたいというものです。コストも時間もかからず、かつ有効だと考えています。この会議も、最初は12-3人でスタートしましたが、回を追うごとに熱心に議論し、やる気が出て来て、現在は、メンバーが増え、17-8人となりました。

それから、新聞にも掲載されましたが、庄川町商工会青年部OB会が、現役青年部と話し合う機会を持ち、その中で、出た話が「カメラ女子」を今年の10月に集めようというもの。また、庄川の観光土産がないということに関して、ユズ製品を何か作ろうということで、「ユズのチーズ」に挑戦し、試食会までに進んでいます。期間限定でもいい、庄川ユズを使う、各旅館で共通して出す、などの了解も取り付けました。

また、地域資源として、かつての「金屋石」について、金沢兼六園の中で、かつて金屋石が配管に使われた事実があり、その表示をした看板が傷んでおり、金沢の辰巳用水の理事長らと交渉し、富山県砺波市庄川町の「金屋石」の宣伝を条件に、看板を寄贈しました。4月17日の春祭りに、その理事長を招待し、これからも金沢と庄川の交流を続けたいと考えています。

次に、県レベルで、チューリップTVが新幹線開業に合わせた特集を組み、その取材に来ました。今、県の商工観光課とタイアップして、「富山の美味しい朝食プロジェクト」を県内約180のホテル・旅館で献立をリストアップして、朝食に磨きをかけようと計画しました。これは、旅館に泊まるとなぜか、美味しいし、いつもの朝よりよくご飯を食べるというお客様の実態を把握し、そのニーズをつかもうというものです。良い見本が、先進地、新潟県の「松乃山温泉」が初めて、朝食メニューを一新、昔からの地元料理をアレンジし

たり工夫をしたら、大成功し、全国版でニュースとなって、人気沸騰しました。新潟県は、これを県全体に広げていきました。郷土料理を使う、ごはんの素を出し、これを製品化し、人気子役を使ってCMしたら、人気急上昇しました。成功の秘訣は、料理人と本格的に工夫をする、旅館全体で協力するなどが挙げられます。これを見本にと、隣県の山形県や秋田県にも、この朝食プロジェクトが飛び火し、ご多分にもれず本県にも広がってきたわけです。富山県では、秋のメニューから、「美味しい朝ごはんを」がスタートします。新潟県が「新潟県産コシヒカリ使用、新潟県食材使用、ごはんの素開発」を掲げたように、富山県もルール作りをしようとしています。富山県産の米、富山県の美味しい水、地元食材を何種類以上、これらをあまり難しくしない程度に、使用することを決めて、宇奈月、氷見、庄川などを中心とする県内の温泉地を手始めに実施します。県もパンフレットやHPを利用して、PRをしています。

このように富山プロジェクトが、動き出しています。新幹線開業に合わせて、取り組みが出て来ています。開業すると1回は来られると思いますが、料理や人材にも力を注ぎ、リピーターが来られるように努力したいものです。金沢の一人勝ちか？と言われますが、金屋石を通して、その金沢と繋がりを持って、金沢から庄川へ広がりを期待したいです。商工会青年部のパワーはすごいです。地域をよくしたいという若者のエネルギーを感じ、若い人と一緒に未来が開けるよう頑張ります。

